

三井慎也理事長(右)と野村昌史院長。ともに日本消化器内視鏡学会の指導医で、通算5万例以上の検査実績を持つ



医療法人 交雄会メディカル

さっぽろ大通り内視鏡クリニック

●胃・大腸内視鏡検査 Tel.011-200-7140

札幌市中央区大通西4丁目6-1 札幌大通西4ビル5階 <http://www.sapporo-naishikyoku.jp/>

●診療時間

月～金 9:00～13:00 14:00～19:30

土曜 9:00～14:00

休診日 / 日曜・祝日



医師以外はすべて女性スタッフ

地下鉄大通駅、地下歩行空間に直結の札幌大通西4ビルに位置する「さっぽろ大通り内視鏡クリニック」。札幌初の内視鏡専門クリニックとして2015年4月に開院してから、その利便性の良さもあり、多数の患者が訪れている。

医師は、三井慎也理事長、野村昌史院長のツートップを含め4人が曜日によって対応。三井理事長、野村院長はともに日本消化器内視鏡学会の指導医で、確かな検査手技と高度な診断能力は折り紙付きだ。実績も豊富で、上部(食道・胃・十二指腸)および下部(大腸)内視鏡検査においてそれぞれ通算5万症例以上を誇っている。

確かな手技による内視鏡検査は、

札幌初の内視鏡専門クリニック 屈指の実力医師が苦痛のない検査を実施

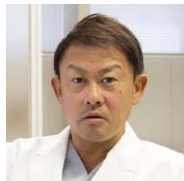


夜間診療を実施し仕事帰りに立ち寄ると好評。受付は平日19:00まで、土曜13:30まで

患者の苦痛を和らげるのが第一条件だが、さらに同クリニックでは細径かつ軟性の最先端内視鏡を導入。個人差はあるが、「まったくつらくなかった」という患者もいるほどだ。腹部不快感の原因となる検査中の空気注入も炭酸ガスにしており、希望する患者には麻酔の使用も可能。検査前後の苦痛不快感、不安にも配慮を怠らない。上部内視鏡検査では、鼻から挿入

する経鼻内視鏡を導入している。また、ピロリ菌外来も行っており、両医師ともピロリ菌感染症認定医でもある。

仕事帰りに診察・検査に訪れることができるよう、午後7時半まで夜間診療を実施。サラリーマンやOLに喜ばれている。院内は、男女別々の更衣室やリカバリ室を完備。受付、看護師、検査技師など医師以外のスタッフはすべて女性とし、女性が安心して受診しやすい環境を整備している。また、毎月第2・第4土曜を、女性を対象に女性医師が診察・検査を行うレディースデーに設定。幅広い女性から予約が殺到している。予約は電話以外にインターネットでも可能。遠方の患者のために、ホテルとの提携プランも用意している。



理事長
三井 慎也氏

1998年帝京大学医学部卒業。帝京大学医学部総合内科入局。札幌医科大学第4内科、手稲深仁会病院消化器病センターを経て記念塔病院勤務。日本消化器内視鏡学会指導医



院長
野村 昌史氏

1987年旭川医科大学卒業。旭川医科大学第3内科、97年手稲深仁会病院消化器病センター勤務などを経て、2015年4月より現職。日本消化器内視鏡学会指導医

敬遠せず 病気の早期 発見に内視鏡

内視鏡検査には、食道・胃・十二指腸を観察する上部内視鏡と大腸を観察する下部内視鏡があります。上部内視鏡は一般的に胃カメラと呼ばれ、下部内視鏡は大腸カメラといわれます。胃カメラや大腸カメラというと、ほとんどの人が「つらそう」とか「苦しそう」というイメージを持つようです。また、大腸カメラの場合は「恥ずかしい」と思う人も少なくありません。しかし、内視鏡検査は胃がんや大腸がんの発見、診断には欠かせない手段です。もちろん、がん以外の病気を見つけるためにも有効な方法で、多くの医療機関が行っている検査手技の一つです。

当クリニクでは、「苦しくない胃カメラ」を実践するため、細径の経口内視鏡を使用するほか、鼻から挿入できる極細径の内視鏡も導入しています。また、滅菌パックに入ったマウスピースを目の前で開封し、清潔なものであることを確認できるようなっています。このマウスピースは内視鏡がどの奥にあたりにくく、咽頭反射が出にくいという特徴があり、より楽に検査を受けていただけます。

現在、女性のがんによる死亡率第1位は大腸がんですが、女性の胃がん内視鏡検査受診率の低さが指摘されてきました。そのため、当クリニクは毎月第2、4土曜日を女性患者のみを受け付けるレディースデーとしています。当日は女性医師と女性スタッフが検査を担当し、社会的ニーズに応えています。

大腸内視鏡も、細径で軟らかい最先端の機器を導入し、苦痛

のない検査を心がけています。検査中には大腸内を観察するために空気を入れますが、これによりおなかが張って苦しくなることがあります。当クリニクでは、空気の代わりに炭酸ガスを使用し、検査中・後の腹部不快感を軽減させています。

大腸内視鏡検査にかかる時間は10分から15分程度。通常は前

内視鏡検査

さっぽろ大通り内視鏡クリニック

第2・4土曜は、医師を含めすべて女性スタッフで内視鏡検査を実施



豊富な臨床経験をもつ医師による的確な内視鏡検査が好評



野村 昌史氏

院長

1987年旭川医科大学卒業。同大第3内科、97年手稲深仁会病院消化器病センター勤務などを経て、2015年4月より現職。日本消化器内視鏡学会指導医

さっぽろ大通り内視鏡クリニック

札幌市中央区大通西4丁目6-1

札幌大通西4ビル5階

Tel.011-200-7140

<http://www.sapporo-naishikyoku.jp>

日から前処置を行います。朝ご飯を食べていないなどの条件が合えば、来院当日の検査が可能です。検査当日は、検査が可能な場合もあります。

そのほかにも、誰もが周囲に気にかけることなく検査を受けられるよう、さまざまな環境を整えています。検査予約は電話やネットでも受け付け可能で、遠

方患者さんのためにホテルとの提携プランも用意しています。内視鏡検査の有用性は言うまでもありません。検査受診をためらわず、病気の早期発見・早期治療の足掛かりとしてください。検査を敬遠し続けていると、重篤な病気に至ってしまう可能性もあります。病気を治す、見つけるのは私たち専門医の仕事ですが、日頃の心がけは皆さん次第です。

当クリニクでは専門医が複数名在籍し、上部・下部内視鏡検査それぞれに、検査実施数では豊富な経験をもっています。多くの症例を診てきた経験から、病気の早期発見がなにより大切だと痛感しています。何かあつてからではなく、「何かが起こる前に」という気持ちで日頃の生活から意識をしてください。